

かばくんの紙芝居による心理教育授業案

1 ねらい

大変な出来事を経験すると、人の心と身体がさまざまに変化するが、それは自然な反応であることを学ぶ。また、それらの変化（心身反応）を取めていくためには、適切なセルフケア（自分でできる対処）と、お互いの励まし合いなどによる心のケアが大切なことを学ぶ。

2 対象学年 小学生、中学1年生

3 準備

○かばくんの紙芝居（A3に1枚ずつ拡大したもの）

○ふりかえりシート

4 学習過程

	授業者の発問・働きかけ	予想される児童生徒の 応答と留意点
1 導入	<p>この時間は、こころのサポート授業です。 今日は、心とからだについて勉強します。</p> <p>この時間は、机を後ろに、椅子だけで、輪になりましよう。</p> <p>小5～小6：今日は、強いストレスにあったときの対処の仕方について勉強します。</p> <p>パペットによる実演（おさるのパペットをもって二人で演じる）</p> <p>けいちゃん；もうすぐ6月だね。（季節にあわせた文言、災害があった日が近づくと不安が高まることを想定して） まりちゃん；そうだね。勉強、うまくいっている？ けいちゃん；それがね、なにか、他のこと考えてしまうんだ。 まりちゃん；他のことって？ けいちゃん；言いたくないんだけど。あのときのこと。 まりちゃん；そうだよね。あのときのことだよね。 けいちゃん；言わないでよ。思い出しちゃうじゃん！ まりちゃん；そんなに、プンプン、怒らなくてもいいじゃない！ けいちゃん；怒ってるのは、まりちゃんじゃない。 まりちゃん；こんなふうに、すぐケンカになっちゃうし。 けいちゃん；学校にいるときは、まだ、いいんだけど、</p>	<p>半円になると、ペアのワークもすぐにできるし、一体感を感じやすいので、なるべく半円にして行う方がよい</p> <p>担任とSCが二人組みで、演じる。</p> <p>津波、地震ということばを入れるかどうかは、学校状況によって異なる。少しずつ、津波という言葉も、教室で、使っていく方がよい。</p>

2 展開 1	<p>お家に帰ったら、急に、悲しくなっちゃうんだ。 けいちゃん；夜も眠れないし、眠っても、怖い夢をみて、目がさめちゃうんだ。 まりちゃん；またあんなことがあるんじゃないかって、心配なんだ。 けいちゃん；そうだよ。どうしよう。・・・あ！そうだ。〇〇（派遣元の県の名前）から、ものしりかばくんのチームがきてるんだって。 まりちゃん；え、ものしりかばくん？そんなの信用できるの？ けいちゃん；なんか、教えてくれるかもしれないね。みんなで、かばくんを呼んでみようか？ まりちゃん；そうだね。 けいちゃん；じゃ、みんなで、「かばくーん」ってよんでみよ。せーの！</p>	
3 展開 2	<p>「かばくんの気持ち」紙芝居</p> <p>2-7 ト라우マ反応を記載 8-13 回復のストーリーを記載</p> <p>リラックス法を体験しよう</p> <p>肩のリラックス法</p> <p>呼吸法</p> <p>絆のワーク</p>	<p>8を読んで、みんなで、肩のリラックス法</p> <p>9を読んで、みんなで、絆のワークをいれてもいいでしょう。</p>
4 ふりかえり	<p>みんなこの〇ヶ月、よく頑張ってきました。かばくんの紙芝居にあったように、あんな大変なことがあると、心とからだの色々変化します。</p> <p>それは、だれにでも起こる自然な反応です。</p> <p>その反応を小さくしていくためには、リラックス・落ち着くこと・信頼できる人に今の気持ちをお話すること・そして少しずつチャレンジすることが大切だと学びました。</p> <p>。</p> <p>それでは、ふりかえりシートにこの時間の感想を書いてみましょう。</p>	

ふりかえりシート

名前	学校 年 組 男・女
<input type="checkbox"/> この授業の感想を書こう！	

この感想を学級通信や学校たよりにのせてほしくない人は、□に、×をいれてください。